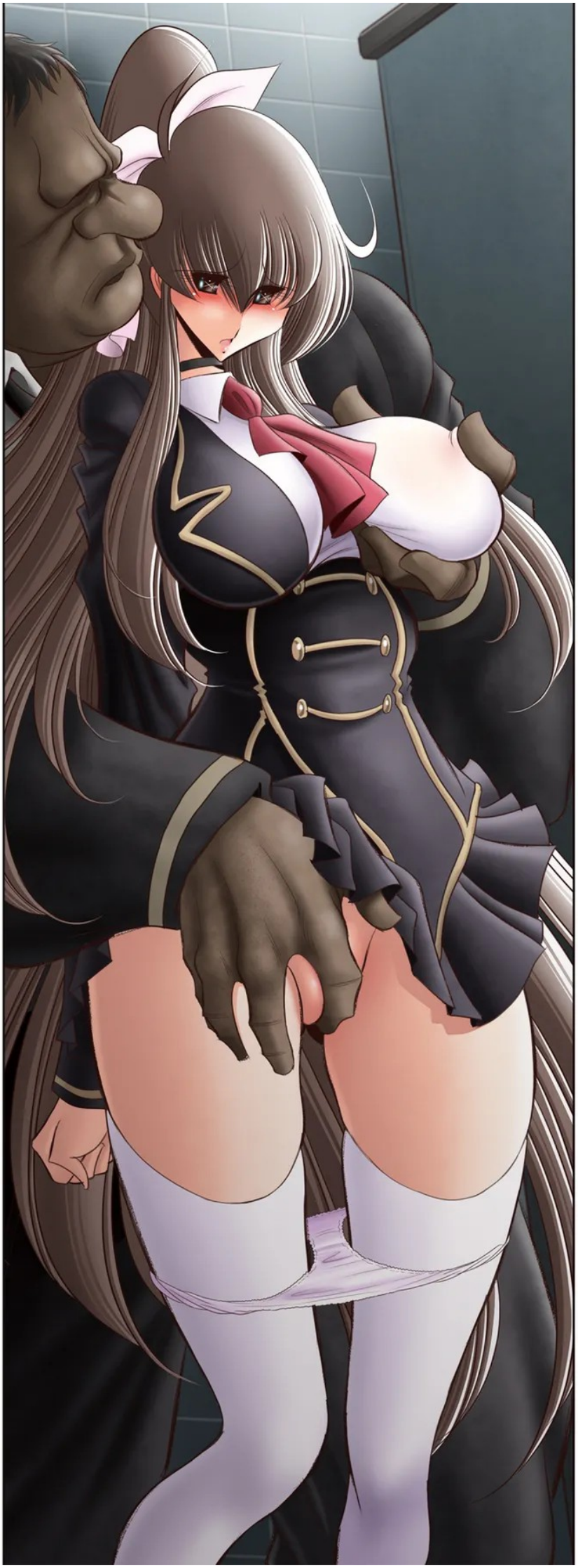


秘密の花園

上巻

成人向

サークル太平天国
堀川悟郎個人誌

「秘密の花園」



まえがき

自分をいじめから救ってくれた同級生。成績優秀、容姿端麗、誰もが憧れる美少女は、見知らぬ男達に弄ばれる肉奴隷だった。他の男子は知らない憧れの美少女の秘密を垣間見てしまった時、果たして自分が取るべき行動とは？

ハーレムと言う言葉を初めて知ったのはいつ何処でだったか。自分の場合はそれこそムダな性知識ではお世話になった永井豪先生だったかも知れませんな。よく書いてる事ですが、自分のマンガの場合は基本女対男の時、一対一もしくは一対多、お姉ちゃんが複数いる場合でも多対多のシチュが多い次第でして、多対一と言う状況はそれ程描いてきてはおりません。これはチンコが何本も並んでる絵ヅラの方が絶望感が増すと考えている為と、やはり自分が主に犯られてるお姉ちゃん目線でマンガを描いてる故でもあります。とは言え、ここんトコ男目線の話も何本かこなしてきておりますんで、多対多の状況が混じる変則的な内容ではありますが、今回は男視点のハーレムもので一本お届け。同じ様な話でも目線を変えればちょいとは違う味付けになるんじゃないかと勝手に思ってる訳なんですが…ダメ？
前回、環境の変化が云々と書きましたが、そんな個人的状況とは比べ物にならないくらい世の中色々ざわついております昨今、またいつの日か即売会で読者様方に手売り出来る日が戻ってくる事を願っております。

令和2年7月10日

堀川悟郎


最近ウチの学校で
見掛ける様になった
黒いチョーカーをつけた
女子生徒達


誰もが単なるファッション
なんだろうと勝手に
思い込んでいて
校則に厳しいウチにあって
何故かこの件については
何のお咎めもない違和感に
気づく者はいなかった
当然そこに隠された
本当の意味を知る
男子生徒はいない
ただひとり
僕を除いて


秘密の花園
堀川悟郎


昔から臆病な自分が
嫌いだった

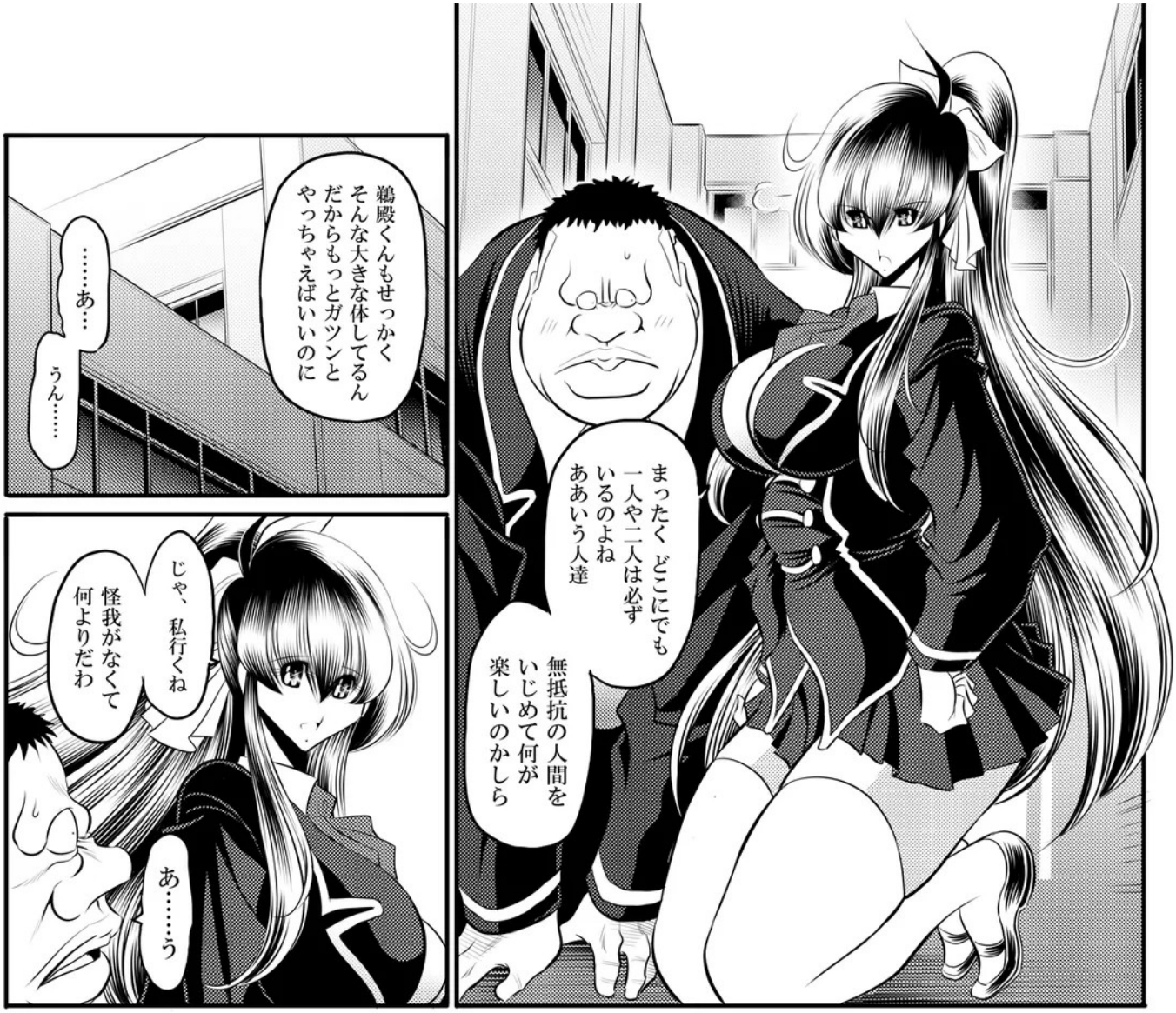

図体ばかりデカい割に
人一倍グズでノロマで
勉強も出来ない
運動もまるで駄目
言ったよな
毎日一万持って
来いってよ
マジでチャリ銭も
持ってねェじゃねェか
使えねェ奴だな
てめェはよ
「ウドの大木」と呼ばれて
絶えずいじめの対象に
されてきた

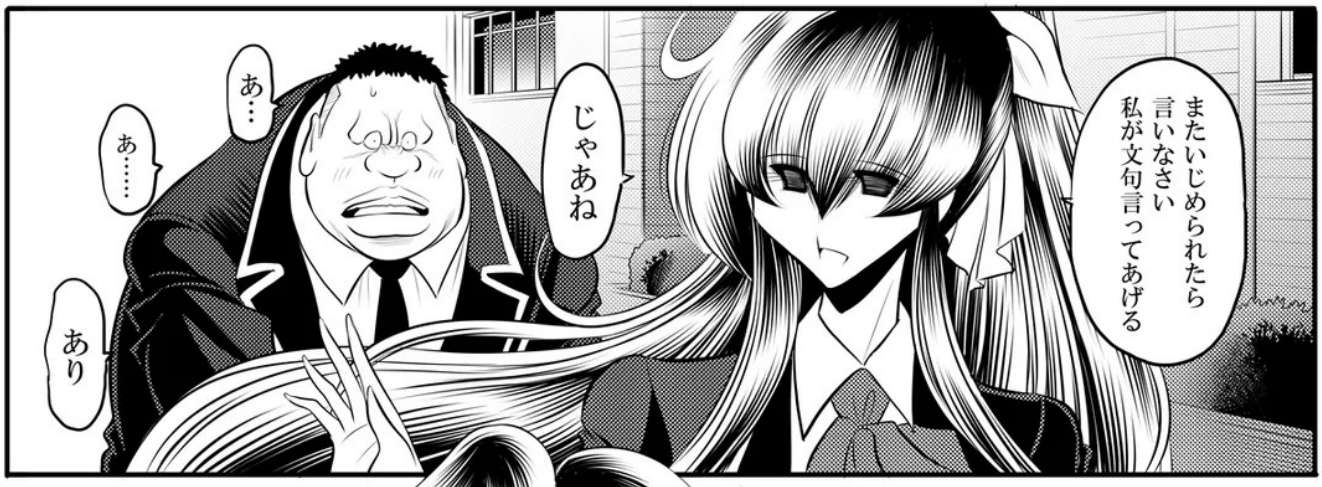

当然の様に高校でも
目を付けられ
金を巻き上げられ
ストレス発散にと
蹴り飛ばされる毎日
そんな目に遭っても
やり返す勇気も
持てない自分自身が
たまらなく
腹立たしかった

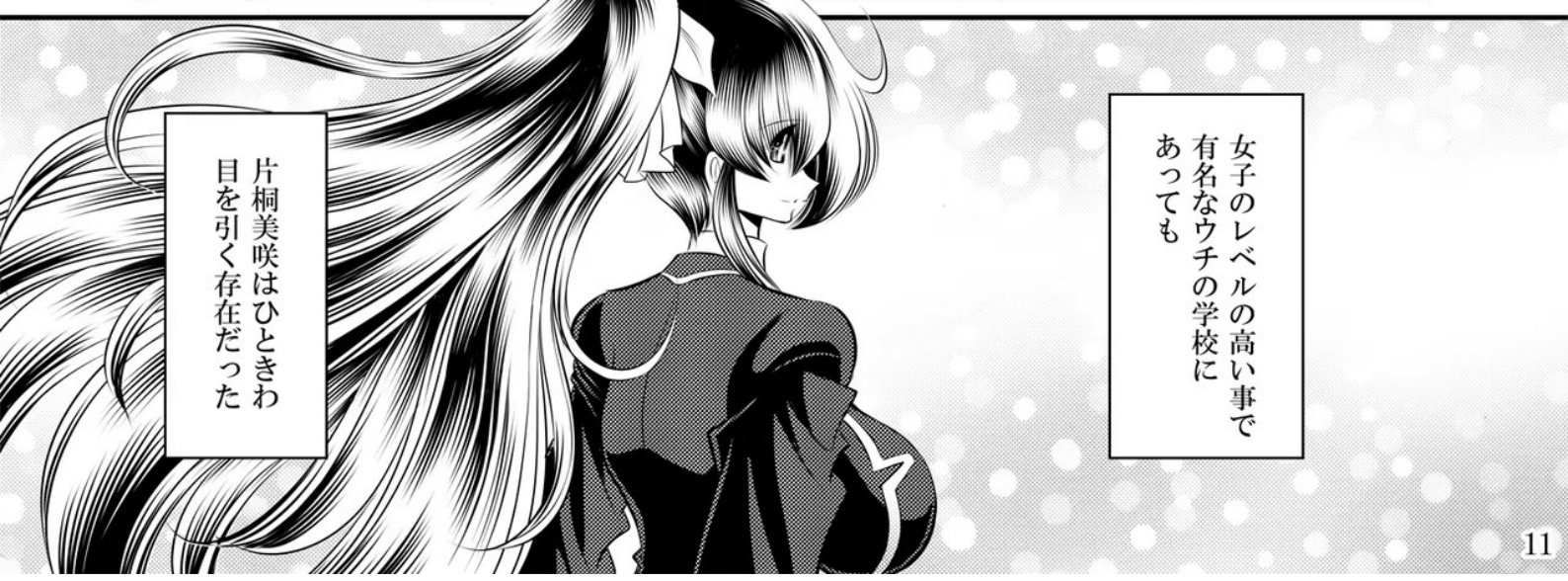

この先もこんな惨めな
毎日が延々と続くんだ
ろうなと諦めかけて
いた時
なんとか言って
みろやコラッ
！
その人は現れた


やめてあげて下さい


高校生にもなって
いじめなんてカッコ悪い
と思わないんですか
それ以上暴力を
ふるう様なら大声で
人を呼びますよ
チッ 一年の
片桐かよ
優等生サマは
お優しい事で
シラケちまった
行こうぜ
クラスメイトの
片桐美咲さん
大丈夫
鵜殿くん？
怪我はない？
あ……う
うん……


まったく どこにでも
一人や二人は必ず
いるのよね
ああいう人達
無抵抗の人間を
いじめて何が
楽しいのかしら
鵜殿くんもせっかく
そんな大きな体してるん
だからもっとガツンと
やっちゃえばいいのに
……あ…
うん……
じゃ、私行くね
怪我がなくて
何よりだわ
あ……う


またいじめられたら
言いなさい
私が文句言ってあげる
じゃあね
あ…
あ……
あり

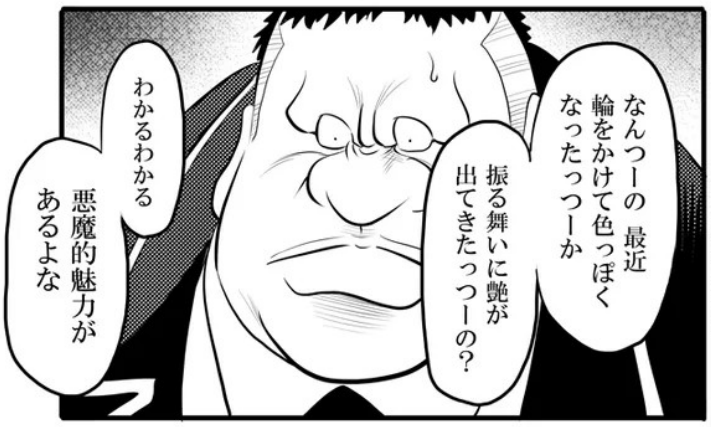

女子のレベルの高い事で
有名なウチの学校に
あっても
片桐美咲はひときわ
目を引く存在だった


校内でも一、二を争う
程の美しさで
成績も優秀　学年で
トップクラスを誇る
運動神経も抜群で
部活ではエース級の活躍
誰隔てなく優しく
友達も多い
僕にとっては高嶺の花
以外の何者でもなかった


片桐さんにとっては持ち前の
正義感でクラスメイトが
いじめに遭っているのを
見過ごせなかっただけだろう
しかし僕にとっては
あの片桐美咲が僕の名前を
知っていてくれただけで
天にも昇る気持ちだった
喋りかけてくれただけで
幸せの絶頂だった

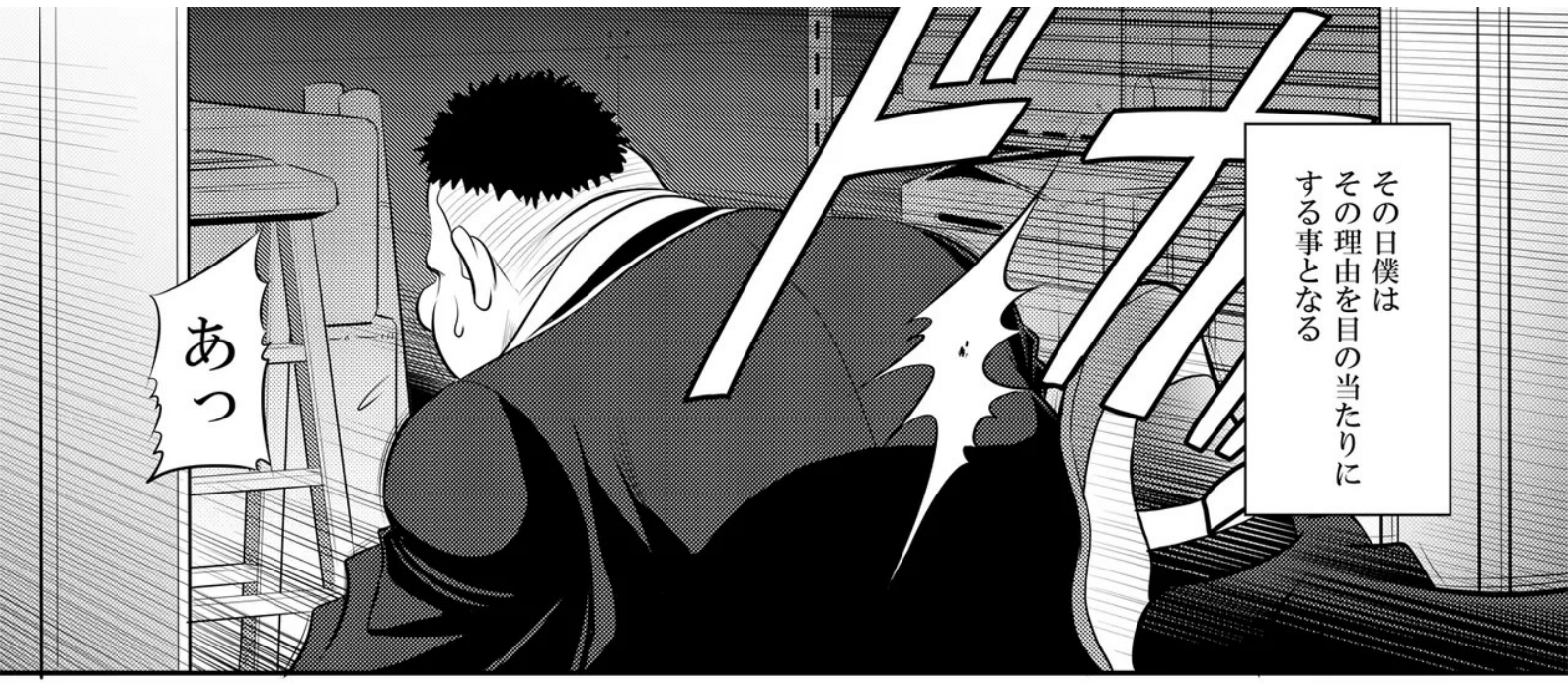

片桐さんが例のチョーカーを
つけ始めたのは
十月に入った頃だったと思う


それは些細な変化だったが
目立つ存在の片桐さんだけに
気づく者も少なくなかった
やっぱ一年の中で
ダントツつったら
三組の片桐だろ
あっ俺も片桐派
他にも色々と
捨て難いの
多いけどなー


なんつーの 最近
輪をかけて色っぽく
なったっつーか
振る舞いに艶が
出てきたっつーの？
わかるわかる
悪魔的魅力が
あるよな


ズバリ男が出来たと
見るね、俺は
マジか
ショック
やっぱ年上かな？
同年代じゃ
釣り合わないっしょ


片桐さんに彼氏が出来た
なんて信じたくなかったが
確かにここ最近
彼女は以前より
色気が増している
気がする
でも
それにしては
片桐さんの笑顔を見る
事は少なくなった


その日僕は
その理由を目の当たりに
する事となる
あっ

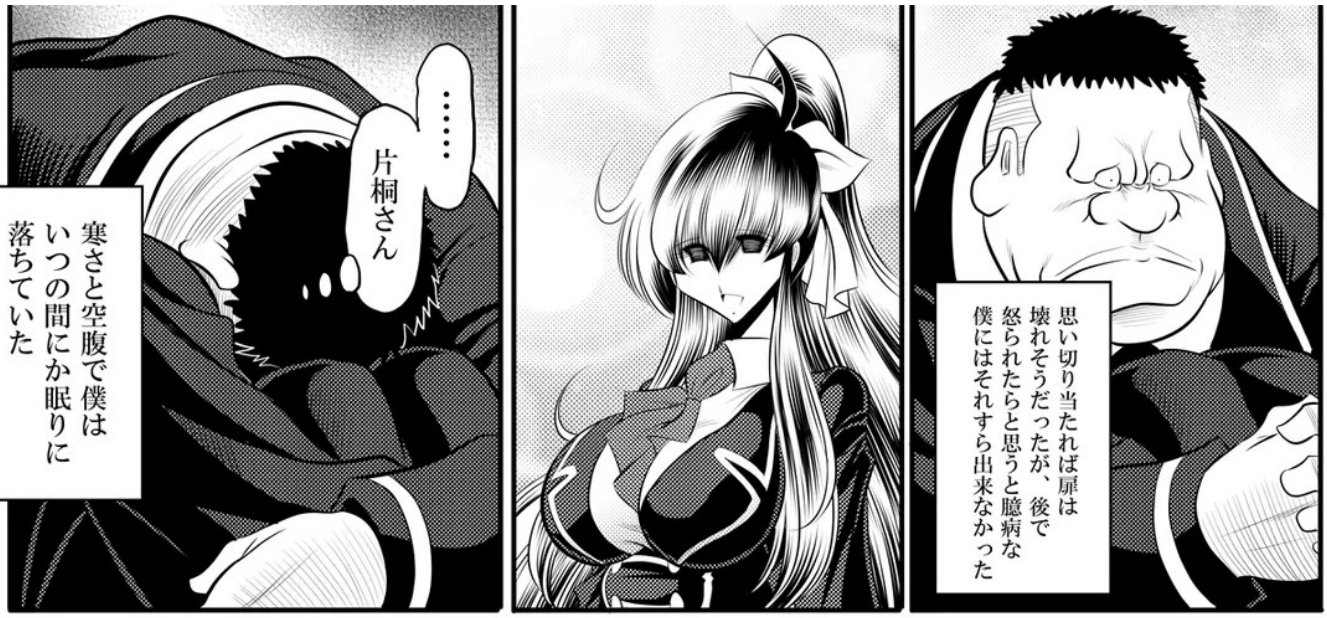



言う事聞かなかった罰だ
そん中で反省してろ
まったく図体がデカい
だけで万引きひとつ
満足に出来ねェのな

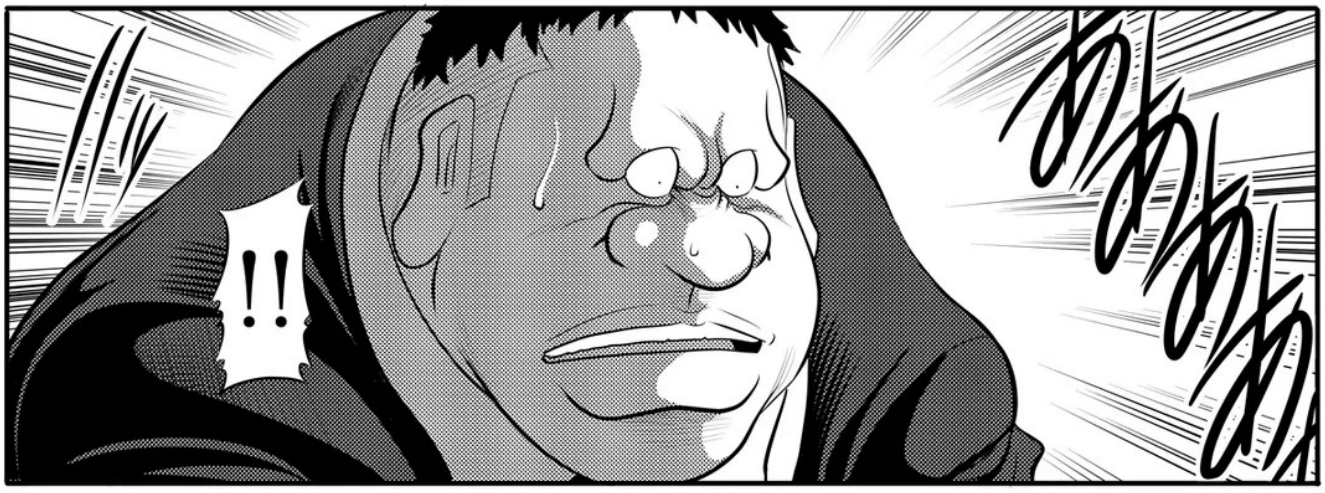

こんな第二校舎まで来る奴
なんてほとんどいねェからな
叫んだ所で多分誰も
見つけてくれねェぜ
下手すりゃ一生
見つからねェかもな
アバよ
だ……
出して


出して
お願い
出してぇ


その日は金曜日で
おまけにここは普段
立ち入り禁止に
なっている第二校舎だ
最低でも月曜の朝まで
人が来る可能性はなかった


思い切り当たれば扉は
壊れそうだったが、後で
怒られたらと思うと臆病な
僕にはそれすら出来なかった
……
片桐さん
寒さと空腹で僕は
いつの間にか眠りに
落ちていた


どのくらい時間が
経った頃だろうか


!!


誰かいる？
？
大勢の人間の呻き声の
様な音で、僕は不意に
目を覚ました
いくら何でも朝が
来るには早過ぎる
まさか
僕は扉の隙間から
そっと外の様子を
覗いてみた
オバケ？


あああああ
何だ!?
あれは……英語の紅林先生?
何だこれは!?
あれは
生徒会長の堂島先輩


他にも
校内で評判の美少女ばかり
これは夢か？僕はまだ夢を見ているのか
それとも
どや お嬢ちゃん ワシのマラの味は？
おっと、こないだまで生娘やったんやから比べようもないわな
あんっ
みっちり可愛がってチンポの虜にしたるさかいあんじょうキバりや
そこらの若造にはまだまだ負けとらんじゃろう？
……はい
!!
この声は
は…はい……ありがとうございます……
あはん
!!
あああん


まさか……
そんな……
片桐さん？
似てるだけ？
いや違う
間違いなく
間違いなく
やんっ
あはん
まったく最近の若い娘は
肉体ばかりムチムチと
一人前になりよって
からに
お嬢ちゃんはおっぱいが
大きいのォ　手のひら
からこぼれ落ちそうじゃ
あ……ありがとう
ございます……
あんっ
ええモン喰っとる
だけあって牛みたいに
成長しくさりよる


お嬢ちゃん名は？
なんちゅう名前や、んっ？
あ……み、美咲です…
片桐？
片桐ゆうたらアレか最近負当たり出した片桐工業の？
あっ
片桐……
片桐美咲と申します……
そうかそうかお嬢ちゃん片桐ン所の娘さんやったか
若いみそらで親の借金の肩代わりとは不憫な話やのォ
おのれの親父も阿保な男やでおとなしく組織の言う事聞いときゃ会社を潰さんでも済んどったモンを
片意地張ったおかげで大事なひとり娘まで喰われとりゃ世話ないわな
あんっ
あはあん
ああん

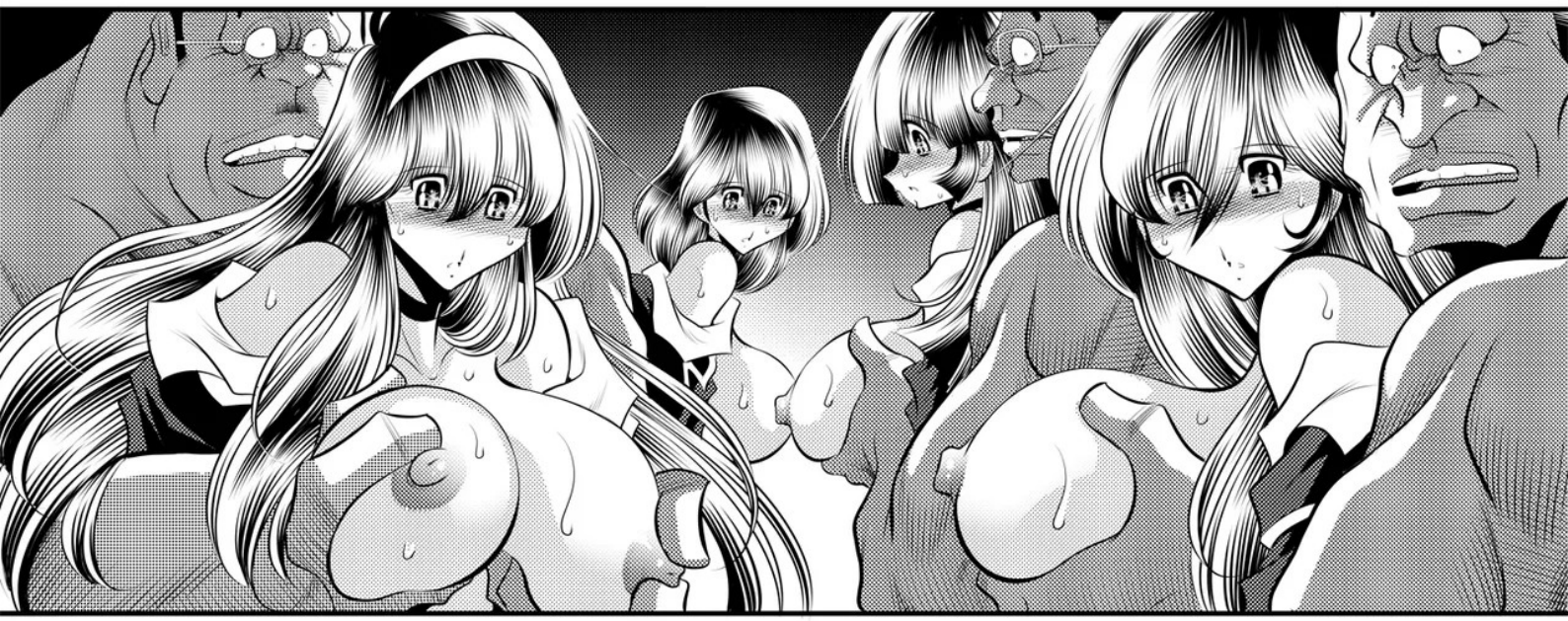

あんっ
あふっ
ま、ここまで大きゅう育ててもろたんや親を怨むんは筋違いちゅうモンや
せいぜいこの立派に熟れ育った肉体を使うて少しでも借金返さんとのォ
カカカ
あひっ
……
はい……
はうん
ホレホレもっと激しく腰使わんと銭は稼げへんぞォ
キバれキバれ
あんっ
あひい
は、はい…申し訳ございません
ああん
あはあん


そんな……
片桐さんが
僕の片桐さんが
こんな……
あ……ああ
どうじゃ便所娘
ワシのマラは
大きかろうが
太かろうが
は、はい
ひいっ
ひいい
おじさまのおちんぽ
最高です
ああああん
片桐さんのお尻が
あんなにピストン
されてる……
ひいっ
片桐さんのおっぱいが
揉みしだかれてる
あひい
あはん

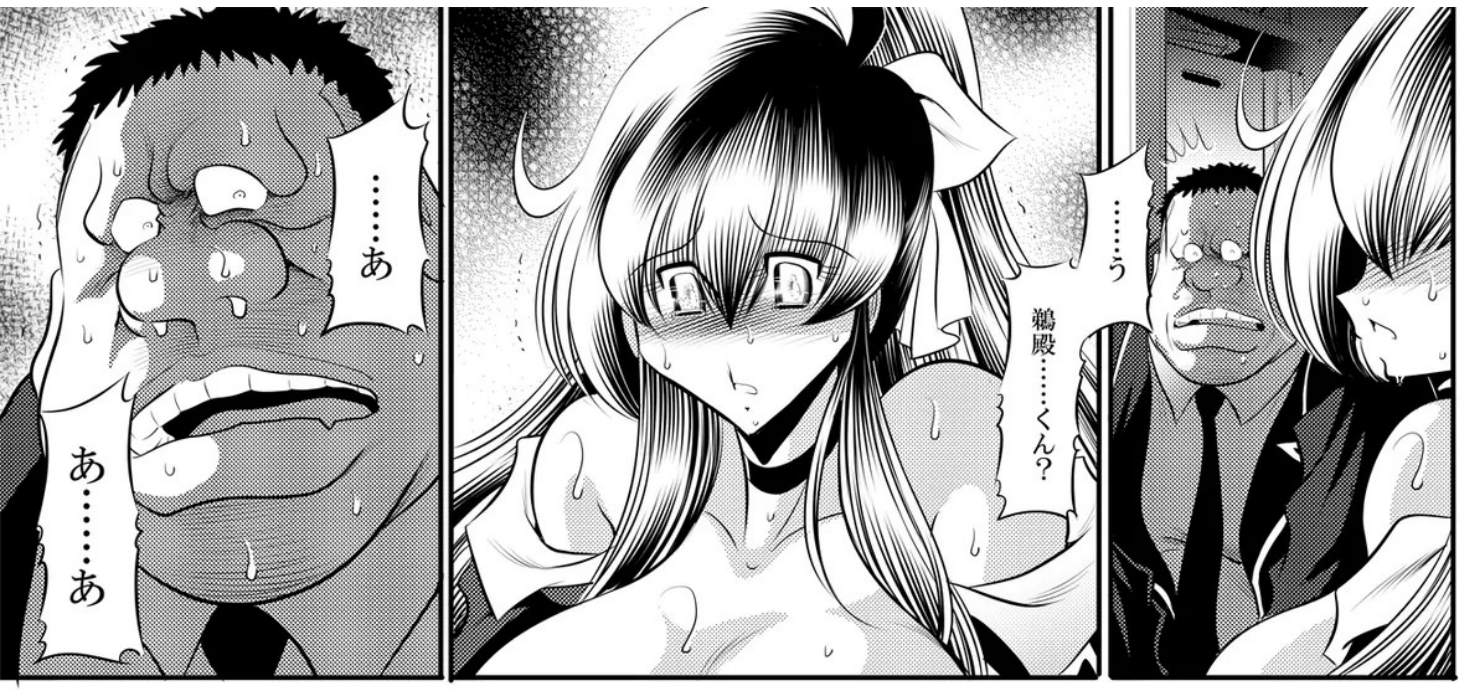

ああん
あひっ
片桐さん……
僕の片桐さんが
見知らぬ男と
あんなに……激しく
あはん
ああああん
片桐さん
片桐さん
片桐さん
片桐さん
片桐さん!!
あっ
あ…あああああ


あ…
あ…ひ
あああああああん
片桐さん……
片桐さんが
ああ片桐さん
片……
!!
えっ？……うそ
待って待って





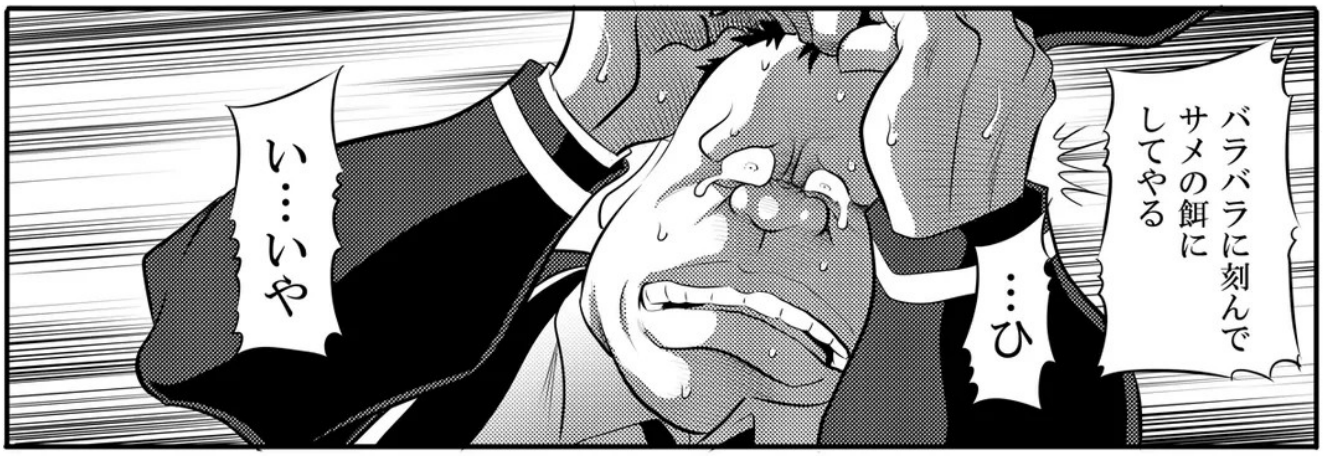

あ……
……
ビク…


……う
鵜殿……くん？
……あ
あ……あ


きゃあああああああああっ


なんやこのガキ
何処から入り
よったんや？
警備はどない
なっとんじゃ
おおい誰かァ
だめぇ
見ないで
見ないで
鵜殿くん
見ないでぇっ
……あ
ああ……

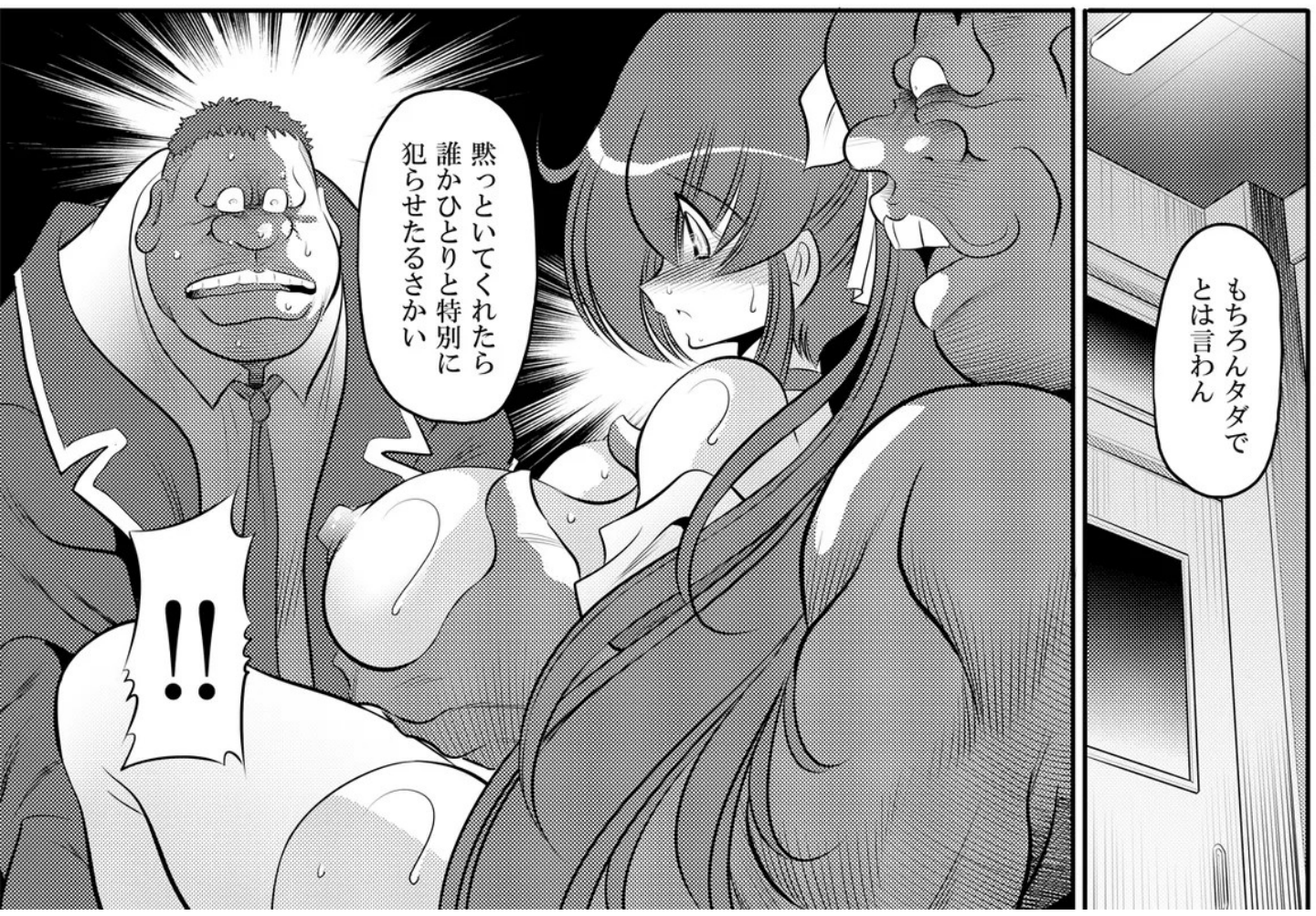

ちゃんと見とかんか
命取りやぞ
は、申し訳
ありません
くそっ こいっ
いつの間に
うあっ
来いガキ
手間かけさせ
やがって
鵜殿くん
てめェ ただで
済むと思うな


バラバラに刻んで
サメの餌に
してやる
…ひ
い…いや

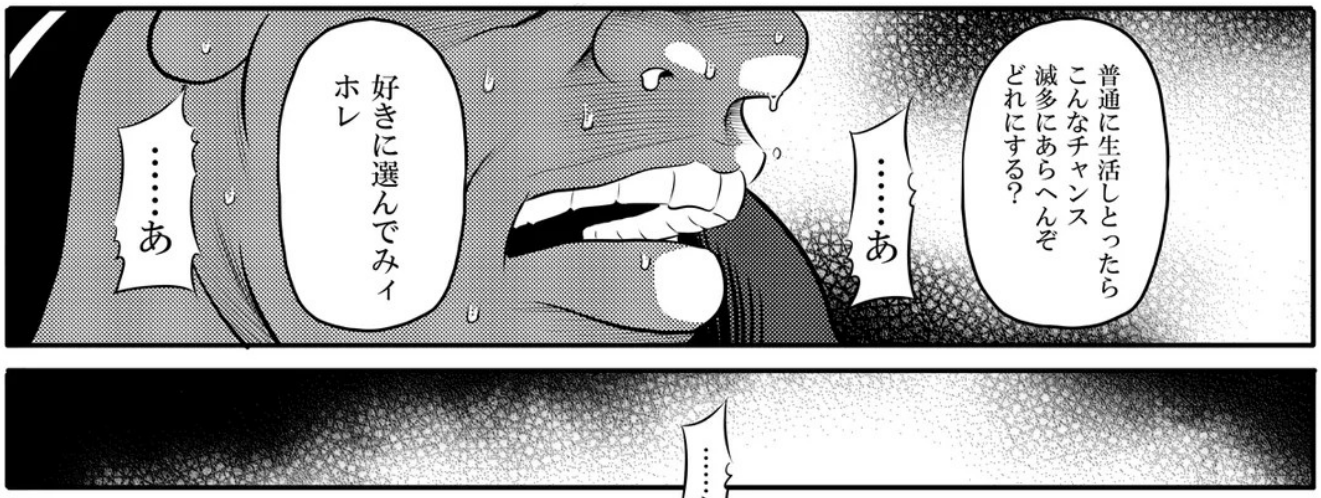

まあまあ
ちょっと待ちぃや
ワシら荒事は
好かんのや
どこで足が付くか
判らんからの
それにな、その坊主
このお嬢ちゃんの
友達らしいわ
そやろ?
!
は、はい
なあ兄ちゃん
ここはな、大人の
遊技場なんや
ワシらみたいな
銭持ちが集まる
週末だけの憩いの場
なんよ


こいつらはな、皆
借金やら何やらで
首の廻らんくなった
連中でな
あっ
ガシュル
あんっ
モニュ
その肩代わりとして
ここで肉体をこねくり
廻されとる言う訳や
モニュ
ワシらにとっちゃ
数少ない楽しみの
ひとつなんよ
あ…

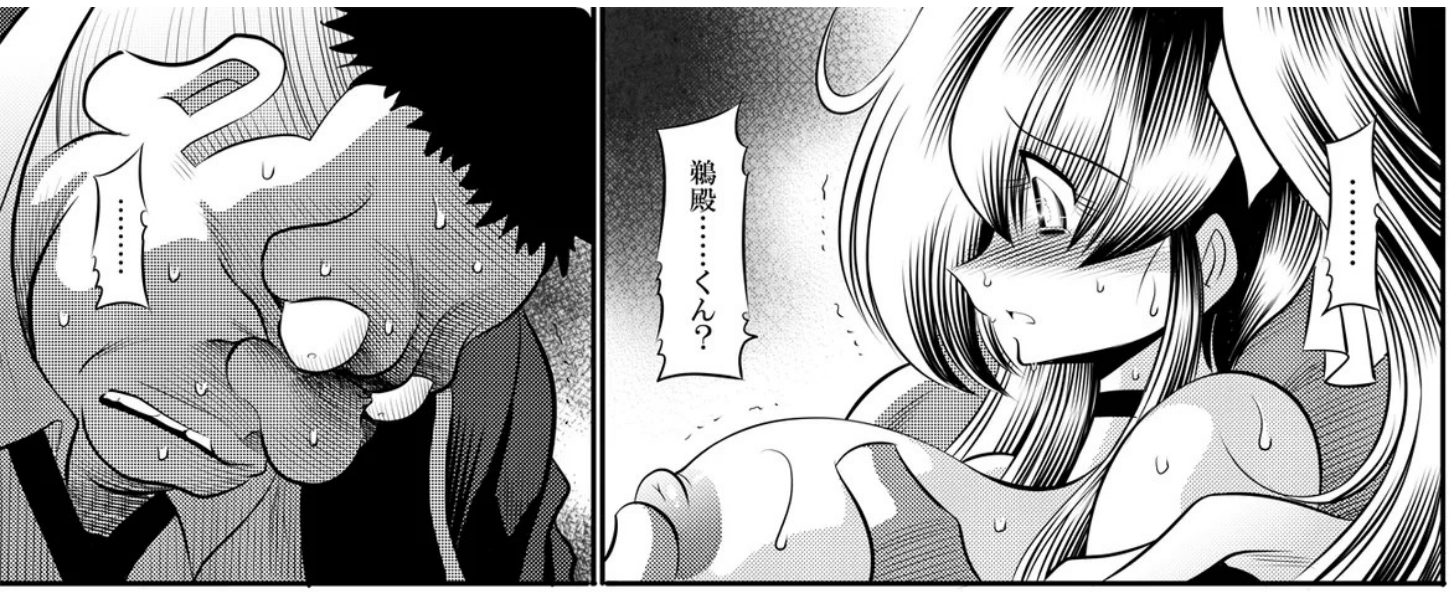

あ…ふ
兄ちゃんにな
アレコレ触れ回られると
色々と都合が悪い
さかいな
……
ここで見た事は誰にも
漏らさへんと誓って
貰えるか？


もちろんタダで
とは言わん
黙っといてくれたら
誰かひとりと特別に
犯らせたるさかい
!!

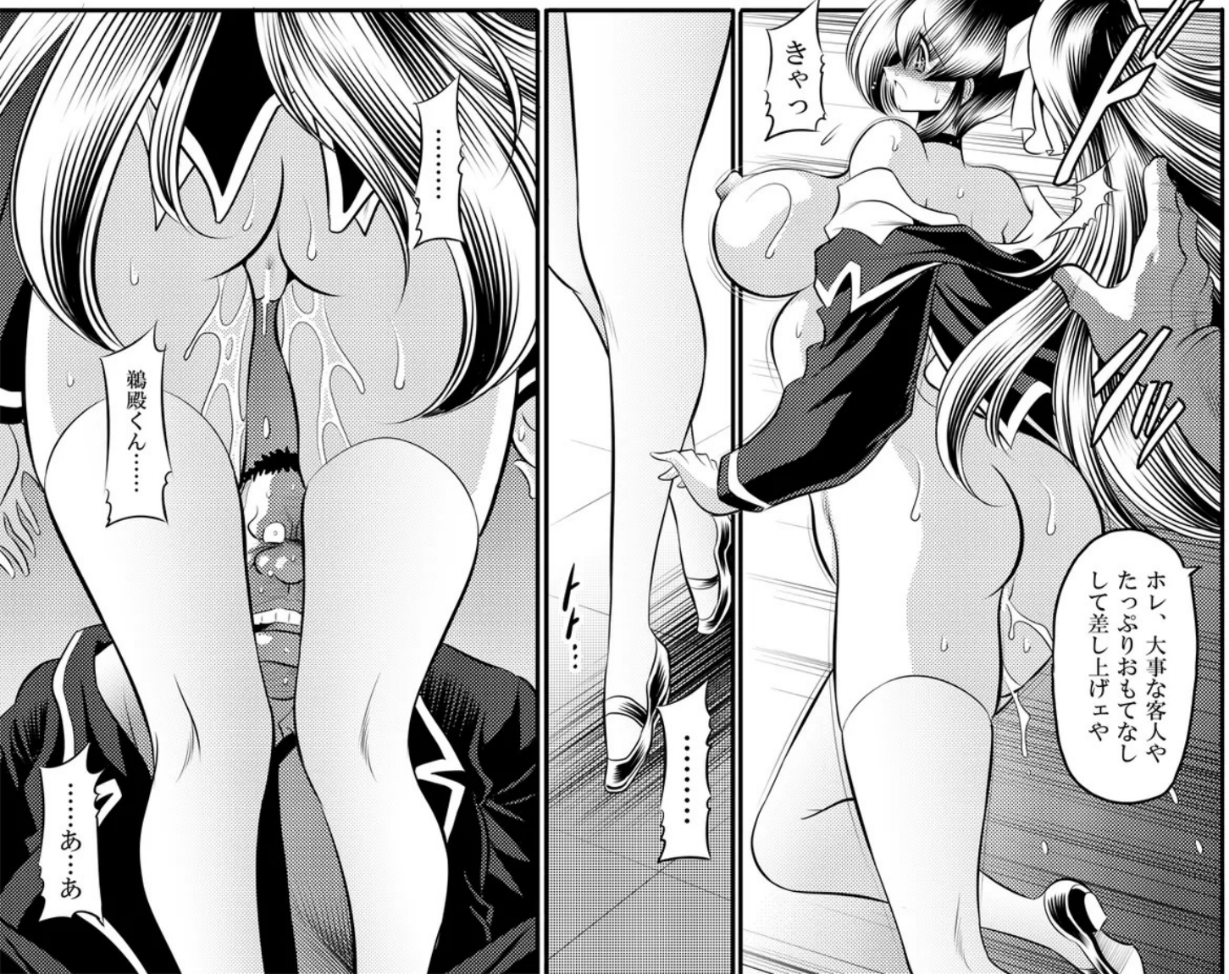

おう、そらええわ
兄ちゃんラッキーやの
どれでもええぞ
より取り見取りじゃ
美貌の女教師に
麗しの生徒会長サマ
あんっ
兄ちゃんみたいな
ブサイクにとっちゃ
どれも高嶺の花
ばかりやろ、どや


普通に生活しとったら
こんなチャンス
滅多にあらへんぞ
どれにする？
……あ
好きに選んでみィ
ホレ
……あ


……か
片桐さんで…


……
鵜殿……くん？
……


ワハハハハ
こらええわィ
まさかの友達からの
御指名やぞ
あっ
兄ちゃん
お目が高いのォ
こいつは最近肉便器に
したてのホヤホヤやさかい
活きがええぞォ


きゃっ
ホレ、大事な客人や
たっぷりおもてなし
して差し上げェや
……
トトト…
……
鵜殿くん……
……あ…あ


兄ちゃん奥手の様やさかい、お嬢ちゃんがリードしたらんかィ
は、はい……
あ……あ
か…片桐さん
や、やっぱりやめ……
あ……あ
きゃっ


……え？
うそ……


ヒャア なんちゅうデカいイチモツじゃあまるで肉大根じゃ
嬢ちゃん達の腕より太いぞアレは
ホレ、ビビッとらんでしゃぶったれしゃぶったれ
は…はい……


ん……
ほおっ
ああ……片桐さんが
お…
んお……お
お……う
おぶっ
片桐さんが……
ボクの……
チンポを……
お……
アカン　とても
根元までよう
咥え切らん
顎が外れて
しまうぞ
ありゃ
……ん
お……ん
……ん
あ……
あおおお
しゃあない　咥える
のは諦めて　舌先で
ペロペロ嘗め廻したれ
は、はい……
……ん


お……
うおっ
ああん
！
あ……ふ
は……う
うあ……あ
ホホォ こらスゴイ
発射しよったのに
一向に萎える気配
すらない
兄ちゃん顔に似合わず
スゴいモン持っとる
やないか 羨ましい
多分兄ちゃん
初めてやろさかい
おのれが自分から
挿入れてやりィ
はい……


僕の目の前に
憧れ続けた
片桐さんがいる
あ…あ
丸裸の片桐さんは
例えようも無く
美しくて
神々しくて
……
鵜殿くん……
ごめんね……
!!
うほっ
どうしようもなく
ひ…
あっ
猥褻だった
あああああ


あ…ひ
あああああああん
おおおおおお
ほおおお
あぁん
はぁぁ


ウホホ あの巨根を
ズッポリ咥え込み
よったぞ
まあ無理もないわ
あないな巨チン
組の仕込み役の
中にもおらへん
まだ肉便器になって
日も浅い新品にしては
やるやないか
せやけど大分
キツそうや
ギリギリゆう
所やな
チンポを通じて
片桐さんの体温が
伝わってくる
僕は今 憧れの
片桐さんとひとつに
繋がってるんだ
あふっ
はうっ
あ…あ
あうう
あんっ


あんっ
片桐さんのおっぱい
ああん
白くて柔らかいおっぱい
いやん
ああん
あはあん
あんっ
ああああん
お、ふたり同時に絶頂きよったで仲のええこっちゃ
や……
あ……


おいおい兄ちゃん
全然止まらへんぞ
抜かず連発かいな
あひっ
はああん
片桐さんが
絶頂った
僕のチンポで
僕とのセックスで
あの片桐さんが
昇天したんだ
たいしたタフさじゃ
やっぱ若いちゅうのは
ええのォ
あ……あ
こんな……
おおお
こんなの……
すご…い
きゃあ


ああん
ヒョオオ 軽々と
担ぎ上げよったで
何ちゅうパワーじゃ
さすがデカい図体
しとるだけあるのォ
あはん
い…いや
見ないで
いやあん
見ないで
下さい
ワハハ ズッポリ
咥え込んだオメコが
丸見えじゃあ
いやあ
やああ
ええのォ ええのォ
エキサイてんぐ
じゃのォ
ああああん
見とるだけで
こっちまで若返って
くる様じゃわ
あ…いや
だめェ
い…絶頂く
絶頂っちゃうぅ

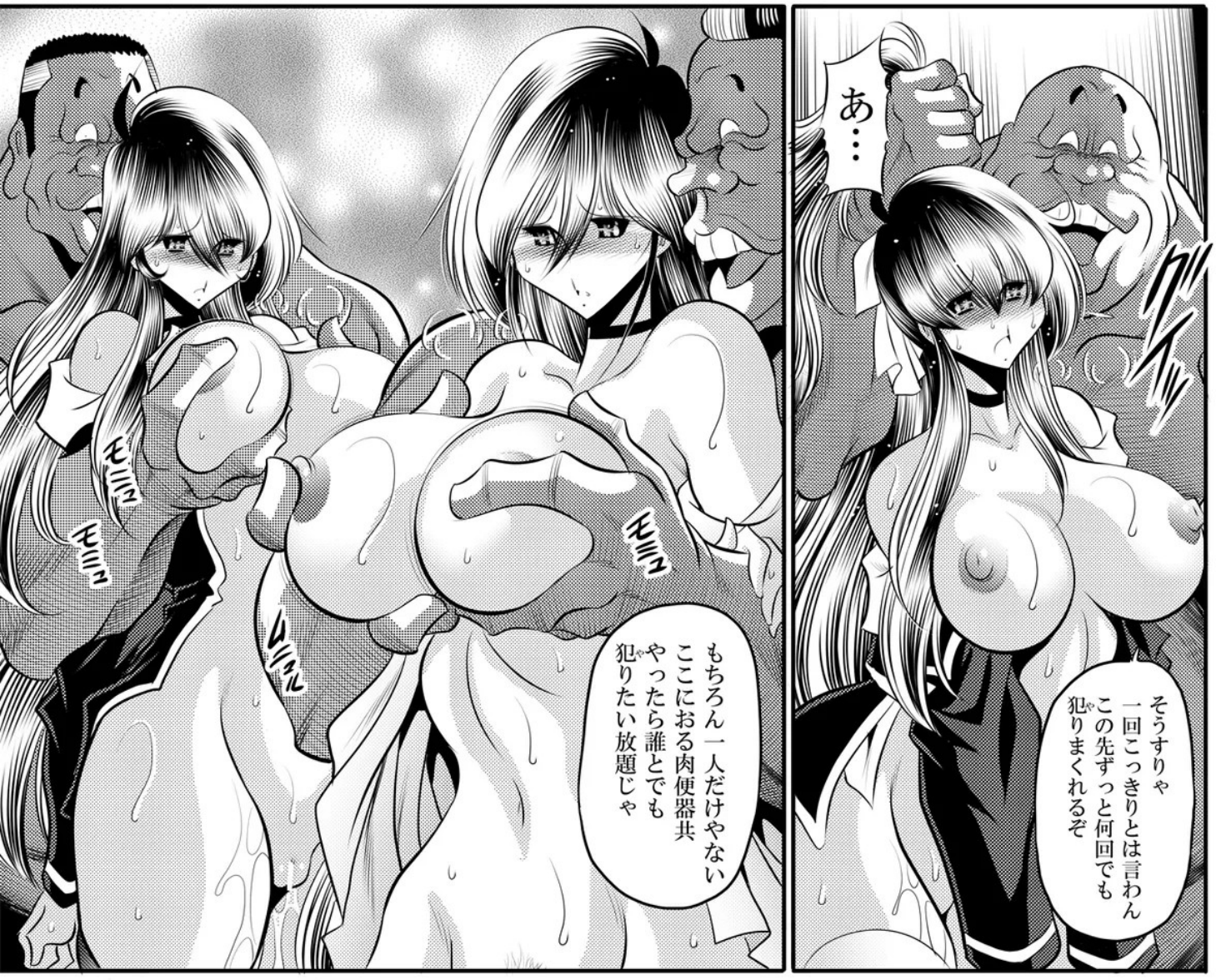

あ…ひ
あああああん
ウホホ潮じゃあ
潮吹きじゃあ
また同時に絶頂(イ)きよったでラブラブじゃのォお二人さん
うおっ 兄ちゃん
まだ行くか
抜かず二連発じゃこりゃ何処までいくか見ものじゃわィ
ひいっ
ひいい
ひいいい
片桐さん
片桐さん
片桐さん


んふっ
高嶺の花だった
片桐さん
手の届かない存在
だった片桐さん
んう……
でも
届いた
お…ん
は……ん
届いたんだ
あ…ひ
あはあ
はあああああん


あ…あ
アアア…
あああああああああん
ビクビク
ビュルル
ビュッビュッ
ビュッビュッ


おまけにまだ犯りたりんと見えてギンギンのまんまじゃて
嬢ちゃんの方は何回絶頂きよったか数えきれへんわィ
結局一度も抜かんと五連発しよったのォ呆れたタフネスぶりじゃて
ワシらがもっと若くてもこうはいかんじゃろう
たいしたモンじゃあやかりたいくらいじゃ
うおお
いやいや お疲れさんええモン見せて貰たわ
兄ちゃんのパワフルぷりを見とったらこっちまで力がみなぎってきよる
皆、若い頃に戻った様じゃと大喜びじゃ
なかなかやるやないか兄ちゃん
そこでや
……
皆と話し合っとったんやが
最初の話ではこれで兄ちゃんはここでの事をキレイさっぱり忘れて貰うつもりやったんやが

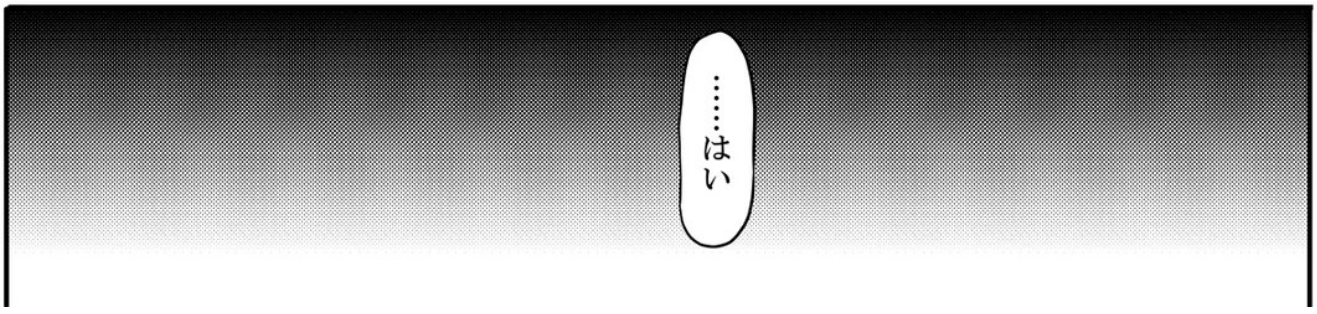

どや、
兄ちゃんさえよけりゃ
ワシらの仲間に
ならんか？
!!


あ…
そうすりゃ
一回こっきりとは言わん
この先ずっと何回でも
犯りまくれるぞ
もちろん一人だけやない
ここにおる肉便器共
やったら誰とでも
犯りたい放題じゃ
モミュ
モミュ
ムニュル


ワシらは週末
ここで遊んどるんじゃ
学校関係者でも知っとる
人間はひと握りよ
ここはな、そういう
肉便器共の収容所も
兼ねとるちゅう訳や
あっ この遊び場が
開かれるのは週末だけ
やから平日は兄ちゃんの
好きにしたらええ
!
秘密を洩らさん
かったら何しても
構へんぞ


またパワフルなセックスで
ワシらに若さを分けて
くれや
な？




……はい


はああ
あふう
はうう
おおおお
これが後戻り
出来ない選択だ
って事は判ってる
決して正しい選択
じゃないって事も
あはうっ
ホレ、兄ちゃんも
遠慮せんとドーンと
いったらんかィ
ドーンと


ほな兄ちゃん
そのスイッチや
バイブが高速で暴れて
その刺激で一斉に
ドバーッちゅう寸法や
あ……
く……
は……う
でも一度
踏み越えて
しまった以上
一度片桐さんの
胎内のぬくもりを
知ってしまった以上
!!
はあああああ
いや…
もう後先の事など
どうでもよかった


はああ
ホレ出た出た
見てみィ兄ちゃん
皆がウンコ花火で
祝ってくれとるでェ
ああっ
キレイやのォ
いつ見ても壮観やな
ヒャヒャヒャヒャ
あひいい
ホレもう一発
腹ン中空っぽに
なるまでどんどん
ブチ込むでェ
あひっ
ひいい
はあああああああ
罪悪感なんて
何処かにいって
しまっていた


ひいい
せ、先生
紅林先生
どや兄ちゃん
女も違えばオメコの
味も違うてきよるやろ
どれもこれも徹底的に
躾けてあるからの
兄ちゃんの巨チンも
根元まで飲み込みよるわ
僕は片桐さん以外の
女性達にもチンポを
ねじり込んだ
ひいいい
あ……あ
鵜殿君
あひい
なんて……
大きさ
あはあん
あひっ
あ……あ 駄目
そんなにピストン
されたら……
あ…ああ
あひい
あああああん


ウチの学校でも特にレベルが高いと評判の美少女達を次々と征服してゆく
あんっ
ど、堂島先輩
生徒会長までこんな……
あ……あ 大きい
大き過ぎます
ああん
お腹が……裂けちゃう
気持ちイイ先輩？
気持ちイイ？
は、はい…
あひっ
はあん
鵜殿君のおちんぽ……
最高です
皆、次々と目の前で絶頂(い)てていった
あ…あ
はああん


ああん
あ…ひ
あんっ
普段なら話しかける事も
見つめる事すらためらう様な
いずれ劣らぬ美少女達が
はうん
ああああん
あひっ
あひいい
あふっ
ああああん
ひとりまたひとりと
僕のチンポを咥え込み
僕の腕に組しだかれ
ながら果ててゆく


片っ端から犯った
犯りまくった
狂った獣の様に
腰を振り濁液を
流し込んだ
はああん
あひい
あああん
あふっ
あんっ
ああん
あふん
……
片桐さん…
鵜殿くん……


あひい
か、片桐さん
どう片桐さん
あ……あ
鵜殿くん
すごいわ
鵜殿くん
中でもやはり
片桐さんは僕にとって
特別な存在だった
あああああん
あんっ
どう片桐さん
僕のチンポ
ああん
あんっ
気持ちイイ？
あはん
あ…あ 鵜殿くんの
おちんぽ……
とても
気持ちいい
片桐さんの肉体を味わい
尽くす様にマンコとアナルを
とっかえひっかえ
ハメまくった
ん……


何度も何度も
溢れ返る程注ぎ込んだ
それでも滾りは一向に
萎える気配も無い
はあああん
あああん
あひいい
ああん
本能のまま
獣欲のまま
僕は腰を動かした
はうっ
ああん
あはう
ウホォ 肉便器共に
一人残らず発射して
尚連発かいな
ワシらも負けて
られへんぞ
キバれキバれ
片桐さんも何度も何度も
絶頂きまくった
時には昇天と同時に
失神までした
あああああん


ああん
か、片桐さん
ボク……前から片桐さんの事が好きだったんだ
片桐さんは
片桐さんはボクの事どう思う？
あんっ
嬉しいわ鵜殿くん……
あはん
あひっ
はうん
ひいっ
私……
私も…もちろん鵜殿くんの事が…
ホントに？ホントに？
はああん
本当よ……私も…鵜殿くんの事が……好き
あひいい
ああん


ああ……好きよ
鵜殿くん
大好き
もっとだ
もっと言ってくれ
モミュ
モミュ
もはや何の躊躇もためらいもなかった
あんっ
あはん
もっと僕を
好きだと
言ってくれ
は、はい
はうん
コリッ
コロ
コロ
愛しています
愛しています
鵜殿くん
世界中の誰より
……ずっと
あ…お
他人を恐れ
自分の殻に
閉じこもっていた僕は
もういなかった
ああん
あああああ


あ…ひ
あああ
はうっ
はあああああああん
――その日
僕は自分の中のタガが
外れる音を聞いた


最近ウチの学校で
見掛けるようになった
黒いチョーカーを
つけた女子生徒達


それが意味するものを
知る者は男子生徒の
中にはいない
ブゥ…


ギィィ…


普段は立ち入り禁止に
なっている、渡り廊下で
繋がれた第二校舎
分厚い防災扉で
閉ざされた向こう側に
それはあった
ガシィッ
ピク…


お待ちしておりました鵜殿様……
どうぞお気の向くままお辱め下さいませ……


そこは
秘密の花園だった
つづく

あとがき

自粛、自粛と、ステイホームの真っ只中で、基本いつも引きこもってマンガ描いてるか工作してる為に生活リズムにほとんどと言っていい程影響のなかった堀川、自粛が解除になった所で、やっぱり引きこもってマンガ描くか工作してるだけですんで、世間様の激動ぶりに反して呆れるくらい変わりばえのせん今日この頃、読者の皆様方は変わらずお元気でいらっしゃいますでしょうか？

こんトコ続いていた狂おしいばかりの母娘モノ熱がようやくちょいとひと息つきまして、今回お届けするのはある意味エロマンガの王道、ハーレムもの。

基本自分のマンガではひとりのおネエちゃんが多人数にフルボッコか、複数のおネエちゃんがこれまた多人数にフルボッコってパターンが多くて、複数のおネエちゃんがひとりの男にインブリモングリって形は

学園に隠された裏の顔を知り、なりゆきから秘密の宴へと参加する事となった鵜殿。
その日から弱気ないじめられっ子は美少女達のハーレムの王となった。　学園内で、時には少女の家にまで押しかけ獣欲を満たしてゆく鵜殿の行く末は？　　冬予定、「秘密の花園、下巻」。

最近の日常　第60回



実はそんなに数こなしてきてなかったりしまして今回のはそのパターンの中でも、のぞき見シチュからのタナボタハーレムと言った、これまた自分の中ではあまりチョイスしてこなかった導入となっております。タナボタシチュの場合、犯り役の男のキャラを、ひたすらクズ男にするか、それともひとクセある好者にするかで着地点が変わってきたりする訳ですが、今回はそんなに頭の悪いキャラにしたくなかったってのもあって色々と着地の仕方を探して右往左往してました。既に後編のネームは最後まで出来ておりますが、果たしてそれで正解なのかどうか、正直まだ右往左往してる所です。

で、この本は本来冬コミ合わせで、出来れば後編と一緒にお届けしたかった所なんですけども、御存事の通り冬コミの中止が決定致しましたんで、急遽書店売りの新刊としてお送りした次第です。

マンガも世の中様も右往左往してる際中ではありますが、どうにかふんばっていきましょう。

令和2年7月10日

堀川悟郎



「秘密の花園　上巻」

発　行：サークル太平天国
発行日：令和2年8月14日
発行者：堀川悟郎
印刷所：ＰＩＣＯ
連絡先：〒486-0817
春日井市東野町
10-17-1 LG216
太田方

<禁無断転載>
18歳未満の購読、購入を禁じます。



成人向